

Web会議の音がうるさい...

オフィスの“音問題”は**One-Bo**で解決！



# リモートワーク拡大の裏で広がる、 オフィスの「音環境問題」

リモートワークの普及・浸透によるオフィスの「音環境」に関するトラブルの増加は、ニューノーマル時代に対応したオフィス環境を整備する上で、多くの企業にとって早急に解決すべき課題です。

コロナ禍におけるリモートワークの拡大などによって、Web会議の頻度は増加傾向にあります。それに伴って「雑音やノイズで相手の声が聞こえない」「オフィスの自席で Web会議に参加している同僚の音がうるさい」など、オフィスの「音環境」に関するトラブルも増加しているのが現状です。

新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに多くの企業がリモートワークを導入するようになってから1年以上が経過したものの、いまだにオフィスの音トラブルを解消できずにいる企業は少なくありません。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染が収束したとしても従来のような働き方に戻ることはなく、時間や場所に縛られることのないリモートワークは今後さらに普及し、Web会議に臨む機会も増えていくことが予想されます。つまり、ニューノーマル時代に対応したオフィス環境を整備する上で、音環境の改善は多くの企業にとって早急に解決すべき課題なのです。



## 音環境が整っていないオフィスで発生しやすいトラブル

音環境が整備されていないオフィスでは、さまざまなトラブルが発生します。オフィスで起こりがちな音環境問題を確認しておきましょう。



### ！ オフィスがうるさくて ミーティング内容が聞こえない

自席やオープンスペースでWeb会議に参加している際、電話の話し声や隣で行われているミーティング音、キーボードのタイピング音などをスピーカーが拾ってしまうと、相手はこちらの発言内容が聞き取りづらくなります。周囲の音というのはこちらが思っている以上にスピーカーが拾いやすいのです。そして、そのような音は相手側にはノイズとして聞こえてしまいます。オンライン商談などの重要な場面では、特に相手に不快な印象を与えてしまう可能性があるため、注意が必要です。また、オフィスの喧騒は、こちら側にとっても相手の声が聞き取りづらくなるというデメリットがあります。

### ！ 自席や共用スペースでWeb会議に参加する人の声がうるさい

「Web会議をしている人の声がうるさくて業務に集中できない」、「自席や共有スペースでWeb会議に参加している際に周りの人に迷惑をかけてしまう」といった問題も頻発しています。1人でWeb会議に参加する場合にはイヤホンやヘッドセットを装着することでスピーカーからの音漏れを防止できますが、イヤホンをつけているせいで自分の声量が把握しづらくなり、ついその場に適さない大声で話してしまうことも少なくありません。また、同じ空間で複数の人がWeb会議に参加しているとお互いの音声が雑音となってしまうほか、スピーカーの音をマイクが拾ってしまうことで不快なハウリング音が発生してしまいます。

### ！ 会議室が少なく、Web会議のためのスペースが確保できない

上述したようなトラブルを避けたくても、全員分のWeb会議スペースを確保するのは困難です。そもそも会議室の数が限られている中、Web会議のために大きな会議室を1~2人で利用するようなケースもあり、余計に会議室不足が深刻化しています。会議室を増設したりレンタルスペースを借りたりする予算もないため、結果として自席やオープンスペースで会議に参加せざるを得なくなり、オフィスでの騒音トラブルを招く状況になってしまうのです。また、他の社員に

聞かれたくない内容の場合、会議室が使えないとなると社外でWeb会議を行わなければならない、情報漏えいのリスクを高める危険性があります。



# 音の課題を解決するパーソナル・ミーティング・ボックス

## 「One-Bo」

このようなオフィスでの音トラブルは、プラザクリエイトが提供するパーソナル・ミーティング・ボックス「One-Bo(ワンボ)」を利用することで解決できます。



「One-Bo 1.00」



「One-Bo 1.20」

One-Boは、プラザクリエイトが証明写真ボックス事業で培った技術を活用して開発した個室ブースです。ドアガラスにはスイッチ一つで透明・不透明の切り替えができるスマートガラスを採用しており、外からの視線を遮断して集中して会議に臨むことができます。

本体のサイズが異なる「One-Bo 1.00」(幅100cm×奥行100cm×高さ295cm)と「One-Bo 1.20」(幅120cm×奥行120cm×高さ295cm)の2種類があり、個室にはUSB給電口付きコンセントや高演出のLED照明、換気ファンを完備しています。消防基準法に則り、外部からのアラームが聞こえる程度の遮音性能も兼ね備えています。

# 「音環境の整備」だけじゃない！ One-Boが企業に選ばれる3つの理由

One-Boが可能にするのは音環境の整備ではありません。  
One-Boが企業に選ばれる3つの理由を見ていきましょう。

Point 1

## 低価格で手軽に導入！ 「Withコロナ時代」の オフィスづくりをサポート

高機能を備えているにもかかわらず、One-Boは  
**圧倒的な低価格を強み**としています。

希望小売価格は

**「One-Bo1.00」が54万7,800円(税込)、**

**「One-Bo 1.20」が60万2,800円(税込)**

です(別途設置工事費や運賃などががかかります)。

自重のみで設置できるため大掛かりな工事は必要なく、  
会議室を増設するのとは比べてコストを削減できます。あまり  
予算をかけられない場合でも、手軽にWithコロナ時代に  
適応したオフィスづくりを実現  
可能です。

Point 2

## 「会議内容の漏洩」など、 セキュリティリスクの 低減にもつながる

カフェやワーキングスペースなど公共の場でWeb会議に  
参加していると、相手にその気がなくと**会話内容が聞こえ  
てしまったりパソコン画面が目に入ってしまった**ことで、  
**機密情報が漏えいするリスク**が懸念されます。社内会  
議室であっても、防音性能によっては秘密にしなければならない  
会議内容が漏れてしまうかもしれません。

One-Boは話し声が外部に漏れにくいため、こうした情報流  
出やセキュリティのリスクにも対応が可能です。また、ドアに  
はスマートガラスが採用されており、**空室の場合は外から  
内部の様子を確認できる一方、使用中はガラスを不透明に  
できるので、データが表示されたパソコン画面を見られたく  
ない場合にも安心です。**

Point 3

## 空間に合わせた「ラッピング オプション」でおしゃれな オフィスを演出できる

One-Boでは、プラザクリエイトのプリント技術を活か  
し、**空間に合わせて外装を自由にデザイン**できる「ラッ  
ピングオプション」も提供しています。壁面をおしゃれな  
木目調やレンガ風に変更できるほか、ドアガラスにス  
テッカーをプリントするこ

ともでき、オフィスの  
雰囲気を壊すことが  
ありません。アイデ  
ア次第ではオフィ  
スの印象を格上げす  
ることも可能です。



## まとめ

オフィスで発生している音環境のトラブルについてご紹介しました。リモートワークの普及によりWeb会議に参加する機会はこれから増加していくことが考えられます。**Web会議のスペース不足とオフィスでの音環境問題にお困りの場合は、ぜひOne-Boの導入をご検討ください。**

また、プラザクリエイトでは「リモートワークと出社勤務を併用したハイブリッド体制のためのガイドライン」を公表しています。Web会議における基本的な注意点やコミュニケーションツールの使い方などを紹介しているので、興味のある方は参考にしてみてください。

<https://www.one-bo.com/guide/>

「リモートワークと出社勤務を併用したハイブリッド体制のためのガイドライン」  
(<https://www.one-bo.com/guide/>)

